



こんにちは

白子の議会

です

第84号

平成19年5月1日

発行
白子町議会

☎ 0475(33)2111



端午の節句に鯉のぼり

第1回定例会

一般質問は5名の議員が町政を質しました…2～5ページ
長生郡市合併協議会設置までの経緯……………6ページ
平成19年度予算の質疑応答……………7～8ページ

一 般 質 問

町政をきく

今回の一般質問は5名が登壇し、地域医療、合併問題、教育、農業環境、介護福祉等について質しました。

地域医療の
現状は万全か公立長生病院は正常
に機能するのか

議員 私達の住んでいる長生地域は、長年の懸案である医療不備の改善どころか、医療体制の不備が慢性化し、地域医療の危機的状況に陥っております。救急機関センターとしての公立長生病院の役割、正常化が早急に求められているが、医師不足を理由に延々と進展していないのが現状です。

地域住民の不安は、増々高まっておりますが、公立長生病院は正常に機能して行けるのか伺います。

医師不足で
非常事態に局面

町長 地域の中核病院、唯一の公立病院として設立されており、その使命と責任、又住民の期待は大きいですが、現状は

施設の老朽化が激しく、医師不足は改善されず、非常事態に局面しており、種々手を尽くしているが思い通りに進まないのが現状です。

夜間救急の
空白の改善策は

議員 夜間救急の診療日が月十五日も発生しているが、どの様に対処して行くのか伺います。

明確な改善策の
無いのが現状

町長 夜間救急も、長生郡市六つの病院の輪番制で対応しておりますが、月の内半分が管外医療に頼らざるを得ない状況で、明確な改善策が見い出せないのが現状です。

山武地域医療
センターに
参加するのか

議員 山武、長生の拠点病院を創設すべき計画案があるが

参加するか伺います。

医療圏の見直し
も視野に入れて

町長 現在は長生と夷隅、山武と印旛に分かれているが、見直しも必要と考えます。参加するのか回答は出来ていないが、公立長生病院のあり方を含めて検討している所です。又郡市では三次に近い救急救命の部分は、一諸に行うべきだと思います。

合併問題について

議員 前回協議された四十八項目は、遵守出来るのか、又特例債が無くなり事業が圧縮されないか伺います。

法定協議会設置後
協議を図る

町長 準備会の基本方針として、前回の合併協議会における合意事項は基本的に生かします。特例債については疑問

です。

住民説明は

議員 合併協議は刻々と進むが経緯、方向性は住民に説明すべきと思いますが。

大切なことと確認

町長 法定協議会で協議し、住民に説明して行きたいと考えています。

内谷川拡幅後の
河津桜の
植栽について

議員 町民の憩いの場として桜並木は楽しみにしています。が、将来、桜の成長により災害時の緊急車両の乗り入れに配慮しているのか伺います。

安全と景観を考慮

町長 工事終了後、順次植栽して行きますが、安全と景観を充分に考慮し、実行して行きます。

合併に対する 町長の真意は

議員 長生郡市合併協議会は、

平成十六年九月に茂原市の離脱により解散をしてから二年半が経過をしました。郡議長

会では議論を重ねた結果、市町村長へ申し入れ、昨年三月二十四日に合同会議が開催されました。この間に四回の合同会議が開かれ町長は第二回目の合同会議においてある発言をしています。それ以来、前向きな姿勢であることがうかがえますが、確認の意味で合併に対する真意を伺います。

新しい時代のまちづくり

町長 市町村の合併は、一言で言えば究極の行財政改革だと思っています。平成の大合併、小泉内閣の骨太の方針二〇〇一で、個性ある地方の自立した発展と活性化には合併の促進が重要であるということで合併促進が始まったものであります。今回、議長会のお骨折りで再度協議のテーブルに着くことにしておりますが、

合併は首長や議員あるいは職員のためではありません。最終の目的でもありません。新しい時代のまちづくりの手段の一つであり、住民が合併してよかつたと思える合併を皆さんと協力していきたいと思っています。

町長と議会は一体で

議員 昨年十一月に合併協議

準備会が設置されました。町長は合同会議においていろいろな言動、行動があると思います。住民の意見、議会の意見が重要だという気持ちを持つていますと発言をしながらも、合併期日の件について賛成であったと思います。町長と議会は一体であると思います。賛成をした町長の意思のほどを伺います。

期日の変更はある

町長 準備会で平成二十年四月で賛成をしました。期日を定めても、これからの法定協議会で期日の変更等は往々にしてあり、その場のことと確定でないということをご理解いただきたいと思います。

合併での 対応を伺う

議員 長生郡市の合併問題も

平成十六年秋に破綻し、現在に至るが、時の流れのなかで前進を試みる関係者の方々に改めて準備会が行われていきます。あらゆる角度から模索する姿勢は真剣そのものだと思われませんが二点伺います。

(一) 四月から始まる法定協議会に向けての対応は

(二) 合併での最大のメリットとは何か。

住民の皆さんと 一緒に考えて

町長 議会の議決をいただき法定協議会が設置されますと前回の法定協で問題となりました事項が短時間で協議されていくと思われま

す。白子町として何を主張し、

何を大切に、何を要望して行くか議会の皆さんと十分に相談しながら、また住民の皆さんと時間をかけながら一緒に考えて行こうと思っています。

また、最大のメリットのボ

イントですが、地方分権の受け皿として、規模と能力を持った基礎自治体ができるということですし、長生郡市の場合、ごみ、消防、水道、医療機関などの広域行政が効率的に実施されており、新たに施設設備の建設等は当面は不要であります。

また、運営の意思決定、いろいろな面で市町村と一部事務組合との二重構造の解消ができるという事の、大きなメリットがあると考えてます。

道路問題に ついて

議員 今、町では主要幹線の道路網が着々と整備され、快適、利便性が進み道路は先見性を視野に入れながら経済の活性化に直結するものと思われま

す。通学路や幹線道路網の充実はその限りではないと思いますが、あえて時代の流れが変わろうとしている時期、地域の将来を見越し、先を掴もうとするインフラ整備の一環としての先行投資の計画はないか伺います。

将来を見据えた 先行を考慮中

町長 現状の道路整備状況で

すが、本町は国道のない町でありその中で、県道は四路線延長は21・2キロ、歩道設置は50%強で10・9キロ町道は一級が13路線、2級が9路線その他を合わせた数は856路線あります。

町道の延長は299・1キロで歩道設置は約7・3%ということで21・9キロです。

・要望としては今後、茂原・白子バイパスの早期着工を目指してゆきます。

・町道整備は103号線(牛込・剱金線)と、継続中の101号線(中島橋周辺)の事業が今年度中に終了します。

・予定としては107号線(古所・白濁少の歩道設置、109号線(関・中島の路線)の整備と歩道設置などです。

・生活関連道路も予算の許す範囲内で鋭意整備進めていくつもりですが、今の財政状況ではあまり余裕はありませんが必要度の高いところから、将来を見据えた先行を考えていきたいと思っています。

教育振興対策について

二期制は進学対策にどう浸透しているか

議員 今、教育界では様々な問題を抱えています。

町ではゆとり教育と二期制を導入をし、成果を上げているというのを伺っています。二期制が進学対策にどう浸透しているか伺います。

基本をしっかり身につけさせ趣旨で臨む

町長 教育振興対策であります。町内四校が二期制で二年間試行を経て、平成十八年度より本格的に実施されました。土曜日が休日となり、学校の中の授業体制が変わったことで、大きな時代の変化により授業時間が減少してしましました。

そこで、少しでも多くの時間を確保して、時間的ゆとりを持つての勉強、あるいは精神的なゆとりを持たせての学業ということ、基礎基本をしっかりと身につけさせるということが二期制の趣旨であります。

ます。既に千葉・船橋各市とも実施されており、白子町の周辺の多くの市町村も検討されています。

白子町においても二年間の試行期間中に、保護者・先生方の理解が得られ、浸透していると思っています。

高校等の進学率との関係ですが、年度により希望・志望が変わること、進学率が100%近いもので、特に二期制とは関係がないと思っています。

いじめ撲滅への対応と取り組み

議員 いじめ問題は各地でいろいろな要因で悲惨な事故がおきています。県は学校・地域・家庭の三者が子供を守る体制づくりを目指すという報道がされておりますが、町はどのように対応していくか伺います。

子供の心のサインを見逃さない早期対応を

教育長 白子町教育委員会は県のいじめ対策緊急会議の内容を受けて、いじめの現状把

握、教職員のいじめに対する意識調査、いじめの早期発見、早期対応についての研修等の実施の通知をいたしました。

さらに、児童・生徒へのアンケート調査を実施すると共に日常の教育活動を通じて、いじめのサインを見逃さないよう教職員間でも連携を図り、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等の生徒指導の充実に努めています。

子育て支援事業の取り組みについて

議員 放課後児童健全育成、放課後子ども教室、子育て地域協力推進事業などが報道されておりますが白子町の対応を伺います。

平成二十年度の実施を期待する

教育長 子育て支援については行政において様々な支援事業が展開されています。平成十九年より文部科学省と厚生労働省との連携により放課後子どもプラン事業が実施されることになりました。放課後

の子どもの安全で健康な活動場所を確保するためです。

町教育委員会では、文部科学省事業である放課後子ども教室推進事業を平成十九年度は準備期間として、平成二十年度より実施を目指し、関係機関と協議していきたいと思っています。

農業環境の変化について

議員 土地改良後に水利条件が悪化している現状をどう打開していくか伺います。

両総用水の東部幹線からの通水を期待する

町長 最近、水利条件が悪化しているような状況が見られることは事実であります。これを解決すべく、国営事業により、両総用水の東部幹線の水路工事が既に完了致しました。水路は成東から一宮まで本管が通りました。また、この水路から東の海岸寄り今年、試験通水がされるということで改善が図られると期待しています。

電柱等の統廃合はできないものか

議員 土地改良後、電柱が目立つようになりました。安全安心、効率優先の今の農業の中では、ヘリ等による事故も予測されます。このことについて伺います。

農業よりは公共性が優先で

町長 農業サイドから言えば好ましいことではありませんが、電気・電話事業が農業より重視されています。町の農政の分野では規制の権限はありません。



浜宿地先

合併 住民自治後退につながらないか

議員 前回破綻した長生郡市の合併は、道州制への移行を視野に進める上では、県にと

って突破すべき重要な地域だと言われていますが、合併するの、しないのかは住民が自主的に決めるものではないでしょうか。

合併すれば役場は支所になり、旧本納町の実態を見ても周辺地域は住民自治の後退につながるのではないかと思います。ですが町長の考えを伺います。

合併論の中に、「合併しないとやっていけない」と言われますが、なぜやっていけないのか。原因はどこにあるのか。合併しか道はないのか。このことについての原因と対策をどのように考えているのか伺います。

県は茂原市の財政健全化計画を、市の自立計画であり、合併しても生かされるものと認識をされています。これで合併が強行されれば、負担強化とサービス低下の方向

が強まるのではないかと思います。見解を伺います。

よくなるような 地域づくりを

町長 住民自治というのは、住民の声を行政に反映できることが第一だと思います。住民自らがまちづくりに取り組む姿勢や行動が不可欠だと考えていますので、よくなるような地域づくりをしなければいけないし、それが可能だと思っています。

やっていけない原因は、国の財政再建による地方交付税の削減です。人も税も、中央に集まってしまうシステムの大改革をせずに自立、自立という国の政策は納得できないところがあります。

やっていけなくなるという疑問は、福祉を始め、住民の要望に十分こたえることができなくなるのではないかと、この疑問ではないかと思

っています。

財政健全化については、地方交付税算定の特例期間終了までに効果のどのような財政運営をします。しかし、住民生活に支障がでないようにするためには、課題がたくさんあるので、法定協議会で議論しなければならぬと考えています。

山武地域医療センター 構想の状況は

議員 県は、二〇〇四年の将来構想で、県立ガンセンターや県立こども病院などを統合する計画とともに、地域医療の最適化に向けた新たな地域医療センターを目指すとしています。

モデルケースとして発表された、山武地域医療センター構想は、県立東金病院、成東病院、大網病院を統合再編する。東金病院はつぶしてセンター病院をつくるが、県はこの事業には加わらない。こうした医療センター構想は、公立長生病院をも巻き込もうとしています。

こうした県の方針が地域医療を混乱させる原因となっているのではないのでしょうか。この構想は今、どのような状況なのか伺います。

未定問題多く 時間かかる

町長 東金病院にかわる医療施設として、紆余曲折があったようですが、山武地域の各市町村も意見集約ができてつつあるようですが、医療圏とか費用負担の問題が未定ですし、公立長生病院のあり方も確定していません。まだ少し時間はかかると思います。



特定健診の内容は

議員 医療制度改革関連法により、自治体の役割、あり方も大きく変えられようとしています。今まで、町で実施していた老人保健法に基づく基本健診は廃止され、今後は保

険者が実施する特定健診へと切りかわりますが、町の果たす役割はどう変わるのか。特定健診の内容について伺います。

内蔵脂肪症候群の 健診・保健指導

町長 特定健診の特定保健指導は医療保険者の義務となりました。対象者は四十歳以上七十五歳未満の国民健康保険の加入者全員に対して、メタボリックシンドローム（内蔵脂肪症候群）に着目した健診、保健指導を計画的に実施していくこととなります。これは、病気の発見ではなく、指導に重きをおいていくわけです。

今後は、対象者を国保加入者だけにするか、社会保険加入者も委託を引き受け実施するか、後期高齢者をどうするか、協議と議論が必要だと考えています。



長生郡市合併協議会設置までの経緯

平成9年5月16日 長生郡市市町村合併問題調査研究会の設置 【内容】長生郡市の合併問題を機関として発足。	平成18年11月2日 第4回7市町村の首長及び議長による合同会議 長生郡市合併準備会の会則を承認 第1回長生郡市合併協議会会長に一宮町長、副会長に長南町長を選任 (仮称)合併基本構想案として取りまとめる協議内容について合意。
平成14年9月17日 長生郡市合併問題協議会の設置(任意協議会) 【内容】長生郡市合併協議会(法定協議会)設置に向けての協議を行う。	平成18年11月30日 第2回長生郡合併協議準備会 【内容】基本的調整方針、合併の方式、事務所の位置が合意され、合併の効果、各市町村の財政状況等について報告。
平成15年8月20日 長生郡市合併協議会の設置。(法定協議会)	平成19年1月22日 第3回長生郡市合併協議準備会 【内容】新市名、合併期日、議員・農業委員の特例の有無、定数、並びに特別職の報酬、給与水準を合意、更に議員説明会の開催を合意。
平成15年8月～平成16年12月 【内容】協議会を16回開催し茂原市議会離脱により長生郡市合併協議会の解散。	平成19年2月5日 郡市の議員全員を対象とした説明会 【内容】合併準備会における協議内容等について説明。議員118名(議長を除く)の内112名出席
平成18年2月15日 【内容】長生郡町村議会議長会により長生郡町村会へ合併に関する合同会議の開催依頼。	平成19年2月22日 第4回長生郡市合併協議準備会 【内容】「合併基本合意事項」を合併協議会の協議案として位置付け、任意協議会は設置せず、直ちに法定協議会を設置すること。法定協議会設置に必要とされる事項は、参加する市町村が協議し決定することを合意。
平成18年3月24日 第1回7市町村の首長及び議長による合同会議 【内容】合併の枠組みについて、長生郡市一本化で、まとまるのが、理想、段階的な合併を目指す方が早道などの意見があり、協議内容を持ち帰り、議会と協議の上、再度協議。	
平成18年6月1日 第2回7市町村の首長及び議長による合同会議 【内容】合併するなら長生郡市一本での枠組みで合併を進めるべきとの意見が大勢で占めたものの、合意に至らず再度協議。	
平成18年8月9日 第3回7市町村首長及び議長による合同会議 【内容】長生郡市合併協議準備会を設けることを合意。	

【7市町村は臨時会を開催し長生郡市合併協議会の設置に関する議案を可決】

以上のような、経緯により平成十九年四月十日長生郡市合併協議会が設置されました。これまで、明治・昭和の合併が行われ、今、平成の大合併が全国で行われています。ところで、なぜ合併なのか疑問を抱く方も多いと思いますが、小泉前総理による三位一体の改革により事務事業量の増大、経済の低迷による税収の落ち込み等々、多くの問題が行政に山積されています。そしてなぜ、七市町村なのか。長生郡市は、七つの市町村で構成され、この七市町村で長生郡市広域市町村圏組合を設置し、水道やゴミ処理・消防・病院等住民に密着した多くの共同事業を行っています。このような、住民生活の上でもとても結びつきが強く、まさに現実にはひとつの行政(自治体)といっても過言ではないと思います。

昭和の合併から五十数年、平成の大合併の議論が今から始まりますが、できる限り町民の皆様に、長生郡市合併協議会の報告をしてまいります。また、より良い合併を目指し進んでまいり所存でありますので、議会に對しましてご指導、ご鞭撻頂きますようお願い申し上げます。

平成19年度白子町一般会計についての質疑の概要

Q 質問 A 答弁

平成十九年度白子町一般会計歳入歳出予算は、賛成多数で可決された。多くの議員から質疑があり、その概要について報告をする。

(総括)

Q 平成二十年四月にむけて合併協議が進められているが、合併にむけての予算編成として考慮されているか？

A 合併になるから財政を変えろという事はない。他町村との情報のやりとりをしながら進めており、保育料等は加味している。合併が確定した時点で多少の工夫はできていると思う。

(町税)

Q 入湯税として二千五百万円計上されているが、アクア健康センターからはどの程度見込んでいるのか？

A アクア健康センターの入場者数が減少傾向にあり総体の三割弱という見方をしている。

(総務費)

Q 自治会活動報償及び自治会活動の有り方について町当局の考え方を問う。

A 報償費として二百七十二万円計上してあるが、三十二自治区に一戸当り八百円の活動費を支出している。自治会活動については、地区毎に事情が異なるので、町として強制的に加入をさせる事はできない。しかしながら転入者などには加入の勧めはしている。

Q 財産管理台帳修正業務委託料とは？



A 町の財産管理を日本法令協会に委託しており三十万円を見込んでいる。

Q ネットワーク機器リースの活用度は？

A パソコンを結ぶLANシステムで、情報伝達などに活用されている。

Q 住基カードは年間何枚ぐらいの発行を予定しているか。現在の発行総数は？

A 平成十八年度は十九年二月末で二十一枚の発行である。平成十五年度からの総数で七十八枚発行されている。年間で五十枚以内と見込み予算計上をしている。

(民生費)

Q 児童福祉費負担金の内容について

A 保育料の事で、平成十九年度見込み数で二百六十名程度の保育料を概算で算定している。尚、子育て支援の一環として今年度年長児については、保育料を一律五千円とした。

Q 成年後見制度利用支援費の利用実績は？

A この事業については障害者自立支援法の地域生活支援事業という事で、今度の制度の中で町の事業として取り組むものであり、実績はない。この制度を利用する際は一件あたり五万円から十万円程度の費用を見込んでいる。

Q 障害者自立支援法に伴う各事業の委託状況は？

A 手話通訳派遣事業については、町内に三十四名の方が該当しており、一人当たり三千円を千葉県の聴覚障害者センターに委託料として支出する。

訪問入浴事業は三名の利用者が利用している、障害者相談支援の機能強化事業については県内の関連施設へ委託をし、地域活動支援センター事業については、NPO法人ひびぎ会に委託をする事になる。

Q 子育て支援事業助成金とは学童保育を対象としたものか。現在何人が利用しているか。

A 現在民設民営で運営されており、三十数名が利用していると報告をうけている。

Q (衛生費) 地盤沈下対策について、どのような調査をし白子町はどのような結果が出ているのか？

A 町内二十ヶ所ぐらいのポイントで沈下状況を調べている。2cm以内を維持する方向で対策が取られているが今のところ、その範囲内で収まっている。

Q 処理場機器入替工事費とは何か。また第三クリーンセンター付帯施設用地購入費とはどのように購入するのか。

A 第一クリーンセンターの真空ポンプの購入、

入れ替え工事費で六百五十万円を計上した。付帯施設用地とは、現在ある公園用地であり、千葉県町村会の立て替えで購入しており、年払いで支払いをしている。



第三クリーンセンター

Q (商工費) 昨年十月に二回の風水害により海岸が著しく浸食されたが、海水浴場の開設に問題はないか？

A 特に中里海岸が問題だと思うが、開設できるように努力しなければならぬ。緊急と将来にわたつての策となるが、とりあえずは一宮川の拡幅による良質な土砂を海岸に戻すという方法を取る。

Q (土木費) 町道一〇七号の道路改良工事の進捗状況は？

A 十九年度は百mを予定している。事業費については千五百万円程度を見込んでいる。

Q 古所排水機場のポンプを修繕する事で、どの程度の効果が期待できるか？

A 以前水害をうけた時、新しいポンプを設置したが既存のものが老朽化し、百%の能力が発揮できないという事でオーバーホールするものである。



古所排水機場

Q (消防費) 災害時医療用医薬品としてどの程度用意をしているのか？

A 災害を見込んでの予算計上はできないので、一万八千円は医療品購入の口あけと理解してほしい。

Q (教育費) 町無形文化財助成金の内容について

A 町の無形文化財として、四団体の獅子舞保存会に保存活動を目的として、助成している。後継者育成のために、映像等での保存も始めている。



四月十七日夜、長崎市長が選挙運動中に拳銃で撃たれたという大変ショッキングなニュースが飛び込んできた。この事件は現代日本の民主主義の根幹を揺るがす暴挙であつて絶対にあつてはならない事件だと思ふ。

ところで、我が白子町議会は四月九日に臨時会を開催し長生郡市合併協議会に参加することを賛成多数で可決した。この合併協議会参加は本来十七年度中に可決しなければならぬ案件であつたが、白子町議会としては素案の中に三つの修正要求をしたが、受け入れを拒否されてしまい四月の可決となつた。これから長生郡市は合併に向けた話し合いが行われる訳であるが、合併は一〇年、二〇年と年月をかけ、将来、住民それぞれが良かったと思われる町作りをしていけば良い事である。そのために我々議会としても議論を交わし、みんなが良い町作りをして行きたいと思う。これが本当の民主主義の姿では無いかと思う。